

東っ子

たのしみが
ゆきわたる
東小学校

12月号

言葉の重み

いよいよ年の瀬。今年の重大ニュースといえれば何を浮かべるでしょうか。海外ではフランスのテロ。難民問題。ラグビー日本代表が南アフリカに勝利。フィギアで宇宙選手が三百点越え。羽生選手は、H2ロケットが初めて他国（カナダ）の衛星を打ち上げる。国際宇宙ステーションのミッションで油井飛行士がロボットアームでこののりのドットキングに成功。探査機「あかつき」が金星の軌道入り。再チャレンジャー見事成功。いろいろなニュースがありましたが、日本人の活躍は、うれしいものです。その中でも、やっぱり、ノーベル賞。本県出身の大村智先生が受賞されたというところが最大のニュースではないでしょうか。日本人として二十三人目。山梨県人、初の偉業。

大村先生が発見し研究した微生物をもとに開発された薬が世界の多くの人の命を救っているという、その業績のものすごさには驚かされるばかりです。

とところで、テレビで大村先生が話されて、謙虚で実直な人柄が感じられ近所のおじいちゃんといったら親近感を覚える。うか。大村先生は子どもの時、お祖母さんから「人のためになることをしなさい」といつも言われてきたと話され、その言葉のとおり生きてきたこと、そして「人の役に立つことを絶えず考え続けてきたことが受賞につながった」と話されています。お祖母さんの言葉が自身が生きていく基準・指標となってきたというのです。

小さいときの大人からの言葉掛けが一生涯にわたって影響するものなのか、と改めて言葉掛けの大切さ、言葉の重さを思い知らされました。

大村先生がお祖母さんから受け継がれた言葉は、きっと大村先生のご子息、さらにお孫さんへと受け継がれていくことでしょう。

教師として、親として、大人として、子どもたちにどんな言葉をどうか、大いかに宿題です。今一度考えたいと思います。

学校開放日

十二月九日（水）の学校開放日には、師走のお忙しい中を大勢の保護者、地域の方々に来校していただき、ありがとうございます。当日は、二校時は授業参観、三・四校時はお祭り集会を参観していただきました。

お祭り集会では、全校児童が一年生混合の縦割り班ごとに、それぞれ趣向をこらしたゲーム店を開き、店番を前・後半の二交代制にして、得点を競い合いました。



縦割り班で、それぞれのお昼は室でお弁当を食べました。

グランド作り、全員の輪っか、つたりな席を工夫して食べていただきました。参観していただいた方々にアンケートにお答えいただきました。

・授業では積極的に手を挙げて意見を発表しているところ、は良かったが、話を聞くときに落ち着きがなかつたのが気になった。

・六年生のリーダーシップが素敵でした。

・子どもたちが楽しそうに行動して、とてもよかったです。

・ありがとうございました。ありがとうございます。



ゲストティーチャー

学校は教育活動を進めていく上で、学校外の方々の力をお借りしています。

時には、授業の講師として授業に参加してもらっています。

講師の方を「ゲストティーチャー」と呼んでいます。

一年生では、登校時の安全を見守ってくださっている地域の方お二人をお迎え



矢野さん

入倉さん

は、四年生での方お二人を招いて、各学級で道の授業を行いました。

「いじめ」について真剣に考える時間となりました。弁護士さんの仕事について教えていただきました。



八巻弁護士さん



古屋弁護士さん



山本さん

三年生と四年生では、地域で海外生活のご経験がある方を招いて国際理解について総合の授業を行います。

英語での挨拶や会話を交えて外国文化などを学んでいます。